

プログラムのねらい

○児童生徒に掛ける言葉を見直し、自己肯定感を高める声掛けで支える。

児童生徒の発達を「ささえーる」ポイント

- ③ー2 児童生徒の実態や特性に応じて声を掛ける。
- ③ー3 自己表現が苦手な児童生徒や、活動に消極的な児童生徒に焦点を当てる。

全ての児童生徒の自己肯定感を高めるために

集中して授業に参加できない児童生徒

こんな児童生徒いませんか？

- ・周りの児童生徒にちょっかいを出す
- ・手遊びや落書きをしている
- ・授業中何度も席を離れる
- ・ぼーっとして何もしない

こんな声掛けしていませんか？

静かにしなさい

ちゃんと聞きなさい

しっかり座りなさい

ノートを書きなさい

1 集中して授業に参加できない原因を取り除き、適切な行動が起こりやすい環境にする

2 授業中、話をする、立ち歩くなどの問題行動と置き換わる適切な行動を促す

3 適切な行動を強化する

できるような状況をつくって適切な行動を引き出し、その行動を褒める

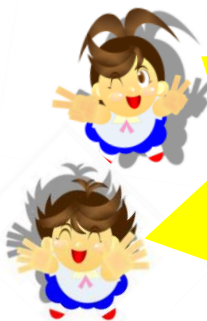
姿勢がいいね

よく見て気付いたね

教科書出しているいいね

忘れ物なし!すばらしい

問題行動を叱責せず、できていることを褒める、認める。



成功体験を増やす。成就感、達成感を味わえるような働き掛けで自己肯定感を上げる！

## 児童生徒の自己肯定感を高めるために

どんな小さなことでも褒めましょう！！

どんな児童生徒にもよいところはある！

児童生徒の見方を変えてみましょう！

あっ！ゴミを拾っている！！

自分から黒板を消している！！

落ち着いて過ごせているな！！

ありがとう

助かるよ

その調子

褒めた後に、褒めたことを消してしまうような一言や、他の人と比較する言葉は言わないようにしましょう。

✕「次はちゃんとしてね」 ✕「〇〇さんはもっとできるからあなたにもできるよ」

最後は笑顔で賞賛して終わる

それでも、行動が変わらないときには、「〇〇しなさい」とさせる言い方ではなく、「〇〇してから〇〇しようね」「ちょっと保健室で休もうか」など、具体的な言葉で声掛けし、児童生徒の自己肯定感を下げないように心掛けましょう。

できていることを認めましょう。  
よい行動には笑顔で行動強化！